



答弁中の平松町長

生活

安心して住める須恵町にするには

利用しやすい環境を整備中

問

本町の人口は28,726人(令和元年7月末)、月平均21.4人の人口増。高齢化率は26%(平成27年度)4人に1人は65歳以上の方です。65歳以上を無料とし喜ばれているコミュニティバス。しかしバス停から遠く、利用しにくいと困っている町民、特に高齢者も多い。バスの路線や便数を増やし、スーパーや商店、

病院、銀行に行くために使いやすいものにすべきです。また、健康寿命延伸のために、若杉の森運動公園等に設置している健康遊具を増やし町民だれもが利用しやすい身近な公園、公民館、学校にすべきではないでしょうか。

答 平松町長

コミュニティバスの運行については、地域公共交通協議会を開催し、事務局の方で新たに10人乗り程度のバスの導入等も検討しています。65歳以上のバス料金減免は、好評で今後もシニアクラブや広報等でも周知していきたいと思っています。また、便数や路線を増やす事についても現在検討しています。



児玉 求 議員

次に、健康寿命延伸のためのトレーニング施設の必要性ですが、近隣にアクシオン福岡や粕屋ドームがあり、安価に利用できるようになっていきますので、今のところ施設を作ることは考えていません。また、身近な公園に健康器具をということですが、管理は行政区になるため、逆に撤去してほしいと言われている状況です。ただし、現在建設



町内を走るコミュニティバス

中の須恵町多目的公園(仮称)には、外周に遊歩道を作って健康器具が入るように計画しています。

町政を問う!

一般質問

防犯

犯罪防止対策、町民を見守るため防犯カメラを

関係機関と連携協議

問

町民が安全で安心して暮らせる地域づくりをするため、町内において防犯カメラの設置が必要と考えます。防犯カメラが犯罪や事故の抑止力となり、子供達、高齢者を見守る手段になるのではないのでしょうか。

辺、役場などの公共施設には設置されています。

防犯カメラは犯罪の捜査、検挙に大きな成果を上げています。子供達、高齢者を含め、町民が安心して生活するためにも、防犯カメラの設置について町長のご見解をお伺いします。

答 平松町長

警察等の関係機関と連携協議し設置を検討していきたいと思っています。近年防犯カメラは犯罪捜査等に大きな成果を上げ、必要性は誰もが認めるところです。防犯カメラのメリットは犯人検挙と併せて事件を未然に防ぐこと、デメリットは設置費用と管理費ですがやはりメリットの方が大きいと考えます。

性犯罪防止対策防犯カメラ設置支援事業補助金制度ですが、条件に合えば積極的に活用しますが、過去の性犯罪の事件発生場所や住民の要望等が条件となるため警察との協議が必要と思われます。

自販機の売り上げの一部を防犯カメラ設置費用に充てる取り組みですが、現在飲料メーカー側と話を進めており契約更新時に随時設置できれば



川口 満浩 議員

町内各小中学校、アザレアホールなどに監視カメラの設置はありますが、公園、駅周



宇美町の取り組み



公共施設の監視カメラ

ばと考えていますが、急ぎではない話にはならないかと思えます。防犯担当の総務課の方である程度企画し、徐々にクリアできたらと思っています。